

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(株)北福島タクシー	代表者	紺野亮輔	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者住宅が併設しており、利用者様のその人らしさを尊重した生活を提供する。</li> <li>・地域資源も多く、周囲も静かな環境となっている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 悠と里	管理者	佐藤武彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	4人	0人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全体での取り組みは継続し、具体的な取り組み内容について会議等で明確にする。	コロナ禍にて職員全体での取組が思うようにはできなかった。	コロナウイルスの影響で、外部との関りが希薄になっていた為難しい状況に合った。	事業所からの情報発信が出来るよう取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	現状を維持し、快適に利用して頂けるように努める。	感染症対策を徹底し、感染者を発生させることなく対応出来た。	消毒や対策を徹底しているようで安心して過ごせた。	感染対策は継続し、利用者様に安全・安心な生活を送って頂けるよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所から地域への情報発信をしていく。引き続き行事への参加を計画する。	コロナ禍にて行事の開催がなく参加できなかった。事業所からの情報発信はできなかった。	近隣の方々は事業所について知っているが、具体的な事業内容等までは分かっていない。	地域行事への参加と、事業所の情報を発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域行事へ積極的に参加し、交流の機会を確保する。	高齢者世帯等、在宅生活が継続できるような状況に合わせたサービスを提供し、暮らしの支援ができた。	何かあった時に相談できる場所があるという事は安心につながる。	地域で、本人が望む生活が継続でき、より地域との関りが持てるよう働きかける。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	事業所への理解を深めるとともに、会議を通して地域の声を聴く。	コロナ禍にて、会議としての開催機会が持たず地域の声を聴く機会が無かった。	回覧板等を利用して、地域の声を聴くのも手段の一つだと思う。	社会情勢に合わせ、運営推進会議の開催をしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画の見直しと、地域の方にも参画してもらえるよう働きかける。	コロナ禍もあり、地域住民の参画までは出来なかったが、定期的に避難訓練の実施は出来ていた。	入居者の安全が確保できるように今後も継続して欲しい。 近隣住民も年配の方が多いので協力出来ることは少ないが何かあれば相談して欲しい。	定期的な訓練は継続し、ライフラインが停止したことを想定した訓練の実施も計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
-------------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	7	4	0	15人

前回の改善計画	ケアマネージャーを中心として家族・介護者の不安の把握や、関係が希薄にならないようやり取りを密に実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時に、細かい情報共有が出来ていなかった(伝達不足)。 新型コロナウイルス感染対策にて、面会制限されており家族との関りが希薄になっていたが電話等での連絡対応で状況報告は出来ていた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	7	4		15人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	4		15人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	6		15人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	7		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時に、本人・家族から情報収集し、不安やニーズを申し送り、回覧を通して共有できた</li> <li>・利用間もない方へ、環境になじめるよう細かな声掛けや積極的なコミュニケーションを図ることが出来ていた。</li> <li>・気付いた事はすぐに報告してもらい、必要なサービスへ繋いだり、不安の解消を図る事が出来た。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送り、回覧での情報共有としていたが、細かい部分まで理解できたかどうかの確認をしていなかった為、伝達不足な点があった。</li> <li>・面会制限があったため、介護員と家族と関りが少なく関係性の構築が出来なかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達事項や情報共有すべき内容に関して、しっかり把握できているか、理解できたかの確認をする事で統一を図る。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、 星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
--------------------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	4	3	15人

前回の改善計画	目標や日々の関りの確認と定期的な見直しを適宜行い、意識する事で、対応へのばらつきがないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的な見直しが出来ていない職員がいた。目標(ケアプラン)を把握できていない職員もいた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	4	5	6	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	7	5	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	6	7	0	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	6	5	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング等で普段の様子や関わっている状況を発言し合い、今後の対応について話し合う事ができた。</li> <li>・比較的、本人の気持ちに沿った対応が出来ていた。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応統一のため、時間の経過とともに対応にばらつきがみられた時があった。</li> <li>・利用者の目標を把握できておらず、対応がバラバラな所があった。</li> <li>・本人の思いや、希望の確認が十分にできなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応のばらつきが無いように、定期的な見直しと目標の確認を継続的に行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

3. 日常生活の支援	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7	4	4	0	15人

前回の改善計画	利用者の変化が見られた際、情報共有とその対応についてもしっかりと言語化し、職員の認識に違いがないよう徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケース記録等、日々の関りやその中で気付いた点を記録するよう共有はしていたが、気付ける職員と気付けない職員の差があり対応が遅れることがあった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	5	5	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	5	2	1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	8	2	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	5	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	5	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や状況変化があった時は記録や申し送りを通して情報共有出来ていた。</li> <li>・状況に応じてミーティングやケアマネを含めその日のスタッフで支援内容を検討し、迅速な対応が出来た。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本位ではない対応をする場面があった。</li> <li>・変化に関しての情報共有する機会は保っているが、申し送り等の確認が不十分で統一出来ていない事があった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の生活環境把握を理解するため、日々の会話や、情報を共有していけるように記録する事を習慣化する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
---------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	5	3	2	15人

前回の改善計画	コロナ禍にて併設の住宅が面会禁止となっており、家族との関わりが減っているのをごまめに状況報告し、関係性が切れないように支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	電話や文書を通して、近況報告をすることで、変化や日々の様子を継続的に伝えることは出来たが特定の利用者となってしまった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7	5	3	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	5	3	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	9	3	3	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	4	6	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・定期的な訪問し、日常生活の様子は比較的把握できている
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域資源の把握はある程度出来ていたが、活用には至らず。 ・管理者、ケアマネ、看護師が主として家族とやり取りをしているため、関係性を支援をする機会がなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナの状況にもよるが、地域との関りがほとんどない為交流の機会を図っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9	4	2	0	15人

前回の改善計画	情報共有のみで終わらず、定期的に対応の確認を行う事で情報が薄れたり、曖昧になる事を予防する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎日の申し送りや、回覧を活用し共有した情報を何度も確認する事でしっかり把握する事ができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	7	3	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	3	0		15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	4	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	4	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状態(体調や経過)に合わせたサービスの提供が出来る</li> <li>家族、本人都合に合わせて宿泊、通いの予定を変更したりとニーズに合わせて、サービスの提供が適切に実施出来ていた。</li> <li>本人の変化は日誌や連絡帳へ記載する事で、情報共有や家族への報告がタイムリーに対応出来ていた。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の資源を使う機会がなかった。地域資源の把握が出来ていなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との関わり方を見直し、地域資源の活用を検討する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

6. 連携・協働	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
----------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	0	0	15	15人

前回の改善計画	コロナの状況にもよるが、可能な範囲で他事業所や地域との関りが継続できるよう交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍にて、地域行事の開催実績なく交流が図れなかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	5	5	3	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	2	13	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	0	2	13	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	15	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・担当者会議は、必要時開催・参加出来ていた。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・コロナ禍により、地域活動(清掃以外)が無く参加する機会が無かった。 ・コロナ禍により、家族等以外の訪問は控えて頂いていた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・機会があれば、地域活動、イベントへ参加し交流を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

7. 運営	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
-------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	2	2	11	15人

前回の改善計画	・コロナの状況にもよるが、地域と協働した取り組みができるよう検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域行事が無かったため取り組み実績無し。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	3	3	5	4	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	8	5	2	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	5	3	0	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	0	0	15	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族からの苦情、ご意見があった場合はすぐに報告し対応できている。</li> <li>・地域の方からご意見、ご要望が出た時はすぐに対応出来る体制は取れている。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にて、地域と協働した取り組みは出来ていない。</li> <li>・地域と関わる機会が無かった為、意見、苦情を聞ける機会が無かった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に関係なく、地域の方からの意見を聞く機会を検討する。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
-----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	7	0	15人

前回の改善計画	コロナウイルス感染予防に十分に配慮した上で、研修計画を立て実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍により、全体での開催は出来なかった。動画等を活用して実施は出来た。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	5	2	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	3	2	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	15	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5	4	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・オンライン研修が多くなってきたため、研修への参加が出来ていた。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域連絡会への参加実績は無い。 ・職場内研修も、コロナ禍の影響により一度に集まる事が出来無かったが、動画視聴での対応が多くなってしまった。 ・ヒヤリハット検証は行っていたが、認識にばらつきがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ヒヤリハット検証の実施において、認識にばらつきが出ないようにリスクマネジメントへの理解を深める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023/7/6
------------------	-----	----------

9. 人権・プライバシー	メンバー	千葉、小松、武藤、佐々木、高島、宇田川、板倉、星、齋藤、菅野、鈴木(真)、宍戸、村山、篠木、佐藤
--------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	5	3	2	15人

前回の改善計画	・プライバシーの配慮に欠けた言動や、スピーチロックが見られた場合職員間で指摘しあえる環境をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・不適切な言動が見られた際は、適宜見直すように注意喚起出来ていたが今後も継続。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3	0	0	15
②	虐待は行われていない	13	2	0	0	15
③	プライバシーが守られている	7	6	2	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	7	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	5	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応を検討する事で、プライバシーの配慮、身体拘束、虐待がないように意識して出来ている。</li> <li>・個人情報を目に付く場所に置かないよう配慮出来ていた。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度の対象者がいない為活用する機会はなかった。制度への理解も乏しかった。</li> <li>・第三者に聞こえる可能性がある場所で、他利用者の話しをしていた。</li> <li>・スピーチロックに該当するような対応があった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーの配慮に欠けた言動や、スピーチロックをしないよう具体的に事例を出し適切な対応がとれるようにする。</li> </ul>	